保　証　書

株式会社 カスタム　（印：株式会社カスタム印）

保　証　規　定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
   - a 不適当な取扱い、使用による故障
   - b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
   - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
   - d その他当社の責任とみなされない故障

型　番	HI-01RF	シリアルNO.	
保証期間	年　月　日 より1ヵ年		
お客様	お名前　　様 ご住所 電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社　カスタム
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12
TEL (03)3255-1117　FAX (03)3255-1137
http://www.kk-custom.co.jp/

120401

CUSTOM

熱中症警告インジケータ付
無線温湿度モニター
HI-01RF

取扱説明書

この度は弊社の熱中症警告インジケータ付無線温湿度モニターをお求めいただきまして誠に有り難うございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

安全にご使用いただくために

本器を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
本文内の⚠危険は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。また、⚠警告は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

⚠危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなどマイクロ波加熱炉での温度測定は絶対に行なわないでください。

⚠危険

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

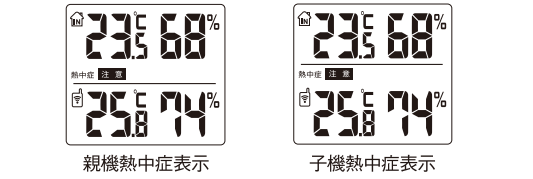
備　考

冬期間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。
暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因となる他、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

⚠警告

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

⚠危険

本器は熱中症の発症を完全に防止できる製品ではありません。熱中症の発症は、周囲環境の温度・湿度・輻射熱等の影響や、個人の年齢・性別・健康状態、その時の活動状況（運動や労働状況等）など、様々な要因に影響されます。ご使用頂く際には、これらの特性を良くご理解頂いた上で、あくまでも目安としてご使用ください。
本器の特性を有効に発揮させるために、直射日光が当たらない室内・屋外に設置してご使用ください。

防水について

本器は、防水構造ではありません。屋外での測定時の雨、雪などの天候のとき、あるいはプールや厨房など、水がかかりやすい場所での測定時は本器の防水には十分に注意してください。

メンテナンス

⚠警告

不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができなくなります。電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に浸して固く絞った布で拭いてください。
絞り方が不完全な布は使わないでください。アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は絶対に使用しないでください。

電波法に関するご注意

本器は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関してはお客様の免許申請等が不要）を受けています。
必ず次の点を守ってお使い下さい。
- 分解、改造をしないで下さい。分解、改造は法律で禁止されています。
- 技術基準適合の標記に関してラベルをはがしたり、標記を消す等はしないで下さい。標記の無い物の使用は禁止されています。
- この製品は日本国外での電波法には準じておりません。日本国外では使用しないで下さい。

1.特長

- 親機、子機が設置された場所の温湿度を同時表示可能な温湿度計。
- 子機の温湿度は無線機能搭載の温湿度センサーにより離れた場所の測定が可能。
- 内蔵の熱中症テーブルにより親機及び子機の熱中症インジケータ表示が可能。熱中症の表示は注意、警戒、厳重注意、危険の4段階
- 見易い大型液晶とボタン一つの簡単操作。

2.各部の名称

子機

①液晶表示部　②リセットボタン　③電池収納部　④電池蓋　⑤壁掛けフック穴

親機

①液晶表示部
②親機/子機 熱中症インジケータ表示切替ボタン
③リセットボタン
④電池蓋
⑤電池収納部
⑥壁掛けフック穴
⑦スタンド

3.仕様

	子機	親機
測定温度範囲	−20.0℃〜60.0℃	0.0℃〜60.0℃
温度分解能	0.1℃	
測定温度精度	0.1℃〜39.9℃:±1℃ 上記以外:±2℃	
測定湿度範囲	20%〜90%RH	
湿度分解能	1%RH	
測定湿度精度（20℃〜30℃にて）	31%〜80%RH:±5%RH 上記以外:±10%RH	
最大通信距離	約80m（見通し状態）	
無線通信周波数	426.025MHz	
測定周期	約1分周期	
熱中症インジケータ表示	「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」の4段階	
使用温湿度	−10℃〜+50℃、90%RH（但し、結露の無い事）	
保存温湿度	−20℃〜+60℃、90%RH（但し、結露の無い事）	
電源	単3乾電池×3本　（アルカリ電池使用）	
電池寿命	約1年（アルカリ電池使用）	
寸法	W63×H122×D22mm	W95×H140×D20mm
重量	約80g（電池含まず）	約140g（電池含まず）

※上記測定温度範囲の間で測定は可能ですが、ご使用の温度環境により液晶表示画面の応答速度やコントラストに影響が出る場合があります。
※低温環境下でご使用いただく際には低温環境対応の電池のご使用をお勧めいたします。

4.電池の挿入と通信開始

子機、親機共に単3乾電池を3本使用します。
電池が不足してくると液晶画面に"⚘"マークが表示されますので、早めに電池を交換して下さい

- 子機
  - (1) 本体裏面の電池蓋についているネジ2か所をマイナスドライバー等で外します。
  - (2) 本体から電池蓋を外し、新しい電池を極性に注意して装填して下さい。
- 親機
  - (1) 本体裏面の電池蓋を矢印の方向にスライドさせて外します。
  - (2) 新しい電池を極性に注意して装填して下さい。
  - (3) 電池蓋を元の通りに取り付けます。

通信開始
- (1) 初めに親機の裏面に付いているリセットボタンを押します。
- (2) 次に子機の電池収納部にあるリセットボタンを押します。
- (3) 自動的に通信が開始され、親機の液晶表示部下段に子機の温湿度が表示されます。
  およそ1分周期で"📶"マークが表示され正常に通信出来ている事がわかります。
- (4) 子機の電池蓋を元の通りにネジで固定し、使用を開始して下さい。

※電池を交換した後、親機と子機の通信が出来ていない場合は親機画面の子機温湿度表示が"— —"になります。その様な時は改めて通信開始の操作を行って下さい。
※長期間本器を使用しない場合は本体から電池を取り外してください、液漏れの原因となります。

5.使用方法

親機の表示内容

①親機温度
②親機湿度
③子機温度
④子機湿度
⑤熱中症インジケータ

"🏠"インドア（親機）の温湿度を示すアイコン。
"📶"子機の温湿度データを受信した際に"📶"マークが点滅します。
"⚘"電池が不足している事を示すアイコン。

熱中症インジケータ表示
親機に付いている熱中症表示切替ボタン（MODE）を押す度に親機の熱中症表示と子機の熱中症表示を切り替える事ができます。

親機熱中症表示

子機熱中症表示

熱中症インジケータは危険レベルに応じて、「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」の4段階で表示します。

インジケータ 表示イメージ

注意　警戒　厳重警戒　危険

子機の表示内容

温度測定状態　　湿度測定状態

一定時間毎（約4秒）に温度表示⇔湿度表示を交互に表示します。
"📶"親機にデータを送信した際に点滅します。

6.熱中症指数とは

熱中症はスポーツ活動ばかりではなく日常生活や職場でも発生します。熱中症予防の対策として、熱中症指数を基準にした温度レベルによって「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」の4段階に分けられています。
この熱中症指数を求めるには、黒球温度計を用いるのが一般的ですが、本器では内蔵の温湿度を下の表にあてはめ、熱中症指数を表示しています。

6-1.日常生活における熱中症予防指針

熱中症指数	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危　　険	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警　　戒	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注　　意	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

本器は下記の表に従い熱中症インジケータを表示しています。

6-2.注意すべき生活活動強度の目安

各温度基準域における注意すべき生活活動強度の目安を下記に示します。生活活動強度を強度別に区分していますが熱中症の発生は作業強度だけでなく作業時間によっても大きく影響されます。したがって、運動や労作をする場合、軽い活動強度でも定期的に休息を取り入れ、水分を補給する必要があります。

軽い	中等度	強い
3.0METs未満	3.0〜6.5METs	6.5METs以上
休憩・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫（縫い、ミシンかけ） 自動車運転 机上事務 乗物（電車・バス立位） 洗濯 手洗い、洗顔、歯磨き 炊事（料理・かたづけ） 買い物 掃除（電気掃除機） 普通歩行67m/分 入浴 ストレッチング ゲートボール※	自転車16km/時 未満 速歩95〜100m/分 掃除（はく・ふく） 布団あげおろし 体操（強め） 階段昇降 床磨き 垣根の刈り込み 庭の草むしり 芝刈り ウォーキング107m/分 美容体操 ジャズダンス ゴルフ※ 野球※	ジョギング サッカー テニス 自転車 約20km/時 リズム体操 エアロビクス 卓球 バドミントン 登山 剣道 水泳 バスケットボール 縄跳び ランニング134m/分 マラソン

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。
- METs(Metabolic equivalent):代謝当量と呼ばれ、活動に要したエネルギー量の安静時代謝量に対する比率を表わします。